



冷静に判断して！ 美容医療サービスのトラブル

美容医療サービスとは、医療脱毛、脂肪吸引、二重まぶた手術、審美歯科[※]、植毛など、「美容の向上を目的として行われる医療サービス」ですが、人気の高まりとともにトラブルに関する相談件数も増加しています。

今月号では、美容医療サービスのトラブルに関する相談事例とアドバイスを紹介します。 [※]審美歯科：虫歯や歯周病治療に加えてホワイトニング、歯並びを揃えるなどの美観的側面も備えた歯科治療



◆ 事例 顔のリフトアップの施術を受けたが・・・

顔のリフトアップが約1万4千円というCMを見て美容整形外科に行った。医師ではない人にカウンセリングを受け「年齢的に安価な施術より他の施術と組み合わせたほうがよい、約半額にできる」などと言われた。症例を見せながら「こんなに変わる、絶対に失敗はない」と強調され、約50万円で契約した。リスクの説明はなかった。「今すぐに」と勧められ、当日施術を受けたが、リフトアップの効果が感じられず、左右のバランスが違った。(60歳代)



◆ ひとことアドバイス

- 美容医療サービスの施術には身体への影響が伴います。広告等の情報を鵜呑みにせず、他の医療機関や法に基づき設置されている医療安全支援センターでも情報収集を行いましょう。
- 施術を受けるかどうかは、医師から施術内容や料金、効果やリスクなどについて、十分な説明を受けた上で、慎重に判断することが重要です。
- 医師から十分な説明を受けたとしても、美容医療は多くの場合、今すぐに施術する必要はありません。いったん家に戻って落ち着いてから決めましょう。クリニックに行った当日に施術を勧められたり「今日契約すれば割り引く」などと契約を急かされたりしたら要注意です。
- 困った時、不安に思った時、トラブルにあった時は、浜松市くらしのセンター等に相談しましょう。

(浜松市くらしのセンター：457-2205、消費者ホットライン188)

【参考・引用】見守り新鮮情報 (2023年8月1日公表) 発行:独立行政法人国民生活センター



くらしのセンターご案内

こちらへ



消費者ホットラインご案内

こちらへ



エシカルコラム Vol.81 エシカル消費



7月号、8月号でエシカル消費とは何か、SDGsとの関係、エシカル消費を進める視点を紹介しました。今月号では、なぜエシカル消費が必要となるのか？背景にある社会で起きている多くの問題の中の一部を紹介します。

未来につながるエシカル消費③

◎社会で起きている問題1 食品ロス

食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本では、事業所・家庭合わせて、1日におにぎり1億2,000万個(1人1個)に相当する食品ロスが発生しています。食品ロスを減らすために、まず私たちができることは「おいしく食べ切ること」や「必要な分を購入すること」。すぐに食べる食材を買うときは商品棚の手前から取る「てまえどり」にもトライしましょう。



◎社会で起きている問題2 海洋プラスチックごみ

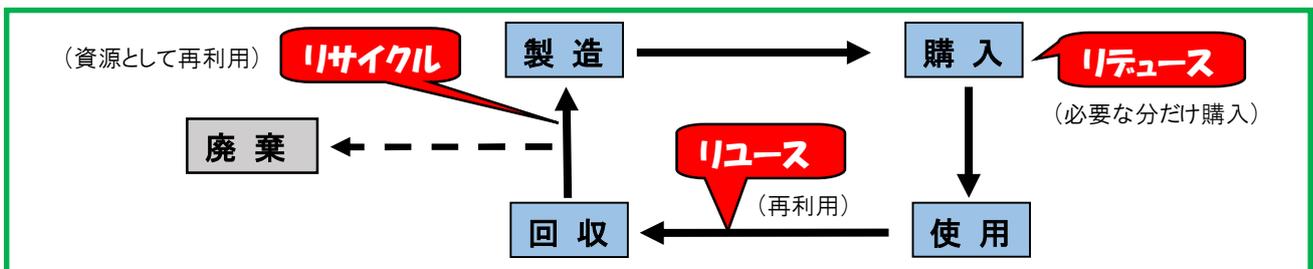
日本で発生するプラスチックごみは年間800万トンとも1000万トンともいわれています。800万トンは東京スカイツリーの200倍の重量です。一方、ポイ捨てや不法投棄などにより、回収されずに河川を通じて海に流れ込んでいる「海洋プラスチックごみ」が日々発生しています。紫外線で劣化して小さくなったプラスチックは、海に漂う汚染物質とくっつき、海の生き物のお腹の中へ。それを人間が食べることで、体の中に汚染物質が入ってきてしまいます。このままでは、2050年の海は魚よりプラスチックごみの方が多くなるかもしれないといわれています。



海洋プラスチックごみを減らすために私たちができることは、ポイ捨てしないで分別収集を行い、リサイクルのルートに乗せることです。

◎エシカル消費で循環型経済をつくっていきましょう！

循環型経済(サーキュラーエコノミー)とは、これまで捨てられていたものを新たな資源と捉え、できるだけごみを出すことなく資源を循環させる仕組みのことをいいます。



(次号に続きます)

【参考・引用】消費者庁発行パンフレット「みんなの未来に エシカル消費」

主要生活物資価格調査結果は、総務省統計局が実施している「小売物価統計調査」をご覧ください(<https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/index.html>)



消費者庁イラスト集より